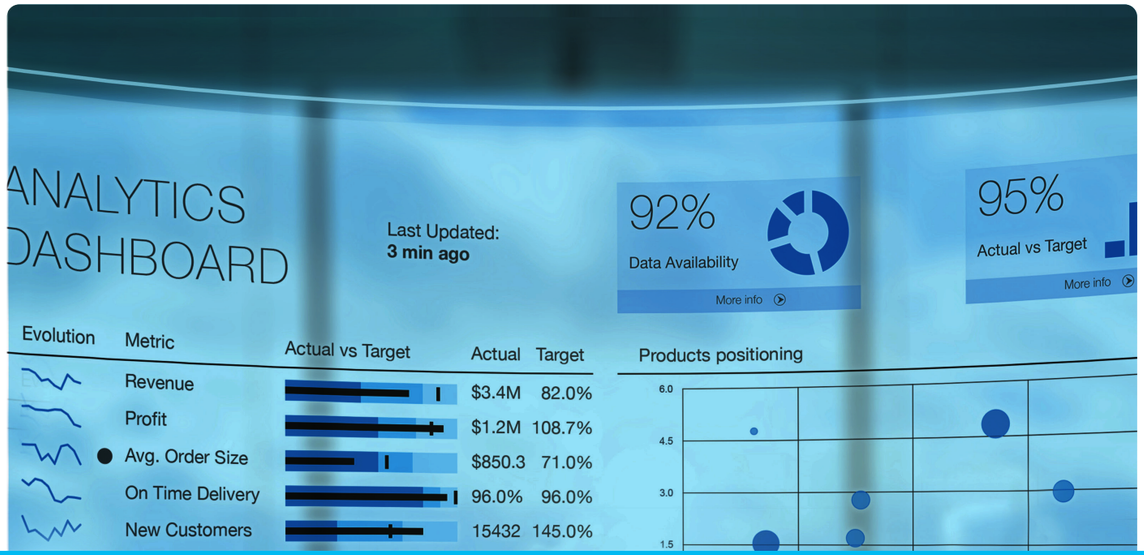
DSI DataScienceInstitute

会社概要

会社名	株式会社データサイエンス研究所
代表取締役	伊藤嘉朗
住所	〒102-0093 東京都千代田区平河町２丁目５番５号 全国旅館会館
	TEL：03-3265-3908　FAX：03-3221-3904
	https://datascience.co.jp/
業務内容	データサイエンスに関連する研修・コンサルティング

東京メトロ 半蔵門線、有楽町線、南北線「永田町」
出口４より徒歩１分



データサイエンティスト養成講座

第四次産業革命スキル習得講座

（Re スキル講座）

DSI DataScienceInstitute

第四次産業革命スキル習得講座

Reスキル講座

実践的解析力・課題解決力の習得

マーケティング、マニュファクチュリング、メディカル
各分野における実践的解析力、問題解決力の習得を目指します。

完全オンラインによる受講・夜間受講も可能

オンラインによるライブ講義によりどこでも学習できます。
講義はアーカイブされますので、ご都合に合わせいつでも受講が可能です。

分野別データサイエンティスト養成講座

MARKETING DATA SCIENTIST
マーケティング
データサイエンティスト養成講座
▸ P.04-05

MANUFACTURING DATA SCIENTIST
マニュファクチュアリング
データサイエンティスト養成講座
▸ P.06-07

MEDICAL DATA SCIENTIST
メディカル
データサイエンティスト養成講座
▸ P.08-09

講座の特長

実践的解析力・課題解決力の習得

マーケティング、
マニュファクチュリング、
メディカル各分野において用いられる
解析手法のしくみ・活用方法の理解と共に、
各分野の特性に合わせたデータを用いた
具体的演習により、実践的解析力、
問題解決力の習得を目指します。

完全オンラインによる受講（ライブ・アーカイブ）も可能です。

- 専用ライブ配信用スタジオにより、臨場感のある受講が可能です。
- 講義内容はアーカイブされますので、ご都合に合わせた受講、復習が可能です。

受講時間　昼間　10：00～17：00
　　夜間　18：30～21：30

統計検定２級（日本統計学会公式認定）取得をサポートします。

修了認定者は、統計検定２級対応講座
（約２日間）の無料受講が可能です。
過去出題問題の解説・演習、
質問対応等により、統計検定２級の
取得をサポートします。

受講対象者

- ☐ 業務分野に合致したデータ解析手法を習得したい方
- ☐ 実践的解析力・問題解決力を習得したい方
- ☐ オンラインによる受講を希望される方
- ☐ 基本的なEXCELの操作のできる方
- ☐ 分析初心者の方も受講可能です。
（特に高度な数学の知識は不要です

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
Reスキル

第四次産業革命スキル習得講座とは？

「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」（通称「Reスキル講座」）は、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度です。

ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

教育訓練給付制度がご利用いただけます

働く人の、主体的で中長期的なキャリア形成を支援し、
雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

支給対象者	
お仕事をされている方	受講開始日時点で、雇用保険の一般被保険者であった期間が通算2年以上の方
退職されている方	一般被保険者でなくなった日から1年以内で、受講開始日時点で、雇用保険の被保険者であった期間が通算2年以上の方

※過去に専門実践教育訓給付金を利用したことがある場合には条件が異なります。支給要件を満たしているか等、お住まいを管轄しているハローワークに必ずお問い合わせください。

受講料の **70%** が助成されます。

MARKETING DATA SCIENTIST

マーケティング
データサイエンティスト養成講座

マーケター必須のデータサイエンスを実践的・効率的に習得

本講座はマーケティング分野におけるデータサイエンティスト養成講座です。
マーケティング分野において用いられる解析手法のしくみ・
活用方法の理解と共に、マーケティング分野の特性に合わせた
データを用いた具体的演習により、実践的解析力、問題解決力の習得を目指します。

修了認定者には、統計検定２級取得を無料サポートします。検定２級対応講座を無料にて受講可能です。

料金 50万円（税込）

修了時間 54時間（4ヶ月）

修了認定要件 下記3要件を満たした場合、修了認定証を交付
- 全科目受講（各科目90%以上出席）
- 総合テスト70点以上
- 課題解決プレゼンテーションに合格

URL https://datascience.co.jp/reskill/mards

演習事例

- ☐ 販促活動に必要な景品の数を求める。
- ☐ 売上高を支店別に前年度実績と比較し問題点を明らかにする。
- ☐ 新製品の好感度について男女による違いについて比較する。
- ☐ 地域による売上高の違いについて検討する。
- ☐ DMの送付前後による売上高の違いについて検討する。
- ☐ 地域・年代による企業好感度の違いの有無について検討する。
- ☐ 新製品のテレビCM前後による評価の違いについて調べる。
- ☐ 主力製品の知名度を、競合他社と比較する。
- ☐ メルマガの配信前後による商品好感度の違いについて判断する。
- ☐ 売上高に対する広告費の効果について地域別、男女別に検討する。
- ☐ 売上高と、広告費、人口、DM発送数の関係について検討する。
- ☐ 駅前コンビニと売上に影響を与える諸要因について検討する。
- ☐ 売上実績、営業員数、広告費、人口データから、売上高を予測するモデルを構築する。
- ☐ 物件情報から中古マンションの価格を予測する。
- ☐ 販促活動に基づき来店客数を予測する。
- ☐ 製品評価に与える因子について分析する。
- ☐ 顧客情報から顧客離反要因について分析する。
- ☐ 小売店における同時購入アイテムについて分析する。
- ☐ ソーシャルメディアの口コミについて分析する。
- ☐ 顧客属性からメールの開封率を予測する。
- ☐ コンサート会場アンケートから、満足度と様々な要因との関係を明らかにする。
- ☐ 年度別市場規模推移から次年度以降を予測する。
- ☐ 消費支出額とトレンドから売上高を予測する。
- ☐ 得意先別に、売上高の構造について年度別に比較し問題点を明らかにする。

カリキュラム

科目		内容
1 マーケティングのための実践統計学	1. データの視覚化	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図
	2. 基本統計	平均、分散、標準偏差、Z値、中央値、中央絶対偏差
	3. 分布	正規分布、t分布
	4. 母集団と標本	検定のしくみ、2種類の過誤
	5. t検定	有意確率、区間推定、効果量、検出力
	6. カイ2乗検定	カイ2乗分布、効果量
	7. 相関分析	散布図、積率相関係数、交絡要因と偏相関係数
	8. 重回帰分析	標準化偏回帰係数、決定係数、交互作用のある場合
2 Rによるデータ解析	1. Rとは	R、Rstudioのインストール
	2. Rの基本的な使用方法	Rstudioの使用方法、ライブラリー、データの読込み方法
	3. 基本統計量、グラフ	平均、分散、標準偏差、Z値（偏差値）
	4. グラフと外れ値	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図、外れ値の検出方法
	5. t検定	有意確率、区間推定、効果量、検定力、対応の有無
	6. 2種類の過誤とサンプルサイズ	効果量・検定力・有意水準によるサンプルサイズの設定方法
	7. ノンパラメトリック検定	ウイルコクソン順位和検定、符号付順位和検定
	8. 分散分析	F値、多重比較（テューキー、ボンフェローニ）、対応の有無
	9. 重回帰分析	ダミー回帰
	10. ロジスティック回帰分析	予測値、オッズ比
	11. 主成分分析	主成分負荷量、主成分スコア
	12. 因子分析	主因子法、最尤法、直交回転、斜交回転、因子スコア
3 Pythonによるビッグデータ解析手法	1. Pythonの基礎	・Pythonの導入、Jupyter Notebookの使い方、各種ライブラリの紹介:Matplotlib/Pandas/Numpy/scikit-learn
	2. データ加工の基本	・データベースの基礎、複数データの結合、ダミー変数化、カテゴリー値化）
	3. 教師あり学習：数値予測	・重回帰分析、ニューラルネットワーク、データの標準化 ・オーバーフィッティング（過学習）と多重共線性、モデルの評価（決定係数）
	4. 教師あり学習：クラス分類	・ロジスティック回帰、決定木、ランダムフォレスト（アンサンブル学習） ・サポートベクターマシン、モデルの評価（Accurary, Precision, Recall, F値）
	5. 教師なし学習：クラスタリング	・非階層的クラスタリング（k-means法）、階層的クラスタリング ・モデルの評価（Elbow法、シルエット係数）
	6. 教師なし学習：アソシエーション分析	・Aprioriによるアソシエーション分析、モデルの評価（支持度、確信度、リフト値）
	7. 自然言語処理とテキストマイニング	・形態素解析、頻出語分析とジップの法則、単語のベクトル化
4 実践力の養成	I アンケート調査法	1. 調査の分類、バイアス、質問項目の作成法、 2. 回答形式（単一回答、複数回答、自由記述）、尺度化の方法（順位尺度、段階尺度、ＳＤ法、ＶＡＳ法等） 3. 調査結果の集計・視覚化（箱ひげ図、ヒストグラムによる外れ値の検討、散布図による把握） 4. 平均値の違いについての検討（t検定、対応の有無、有意確率、効果量、検定力） 5. クロス集計表による検討（カイ2乗検定、有意確率、効果量） 6. 2群以上の因果関係の検討（相関分析、重回帰分析、交絡要因、ダミー変数） 7. サンプルサイズの設定方法（効果量、検定力、有意水準の設定）
	II 販売予測・需要予測	1. 対数グラフによる観察（差と比率の違い、グラフから予測する方法） 2. 指数平滑法 3. 時系列分析（移動平均法、季節指数、TCSI分離法による予測） 4. 回帰モデルによる予測（トレンド、季節指数を用いた予測、ダミー変数を用いた予測
	III 社内データの分析方法	1. 得意先別データの分析 2. 人事データの分析
5 修了認定	総合テスト・課題解決プレゼンテーション	

MANUFACTURING DATA SCIENTIST

マニュファクチャリング
データサイエンティスト養成講座

製造業に必須のデータサイエンスを実践的・効率的に習得

本講座はマニュファクチュアリング分野におけるデータサイエンティスト養成講座です。
マニュファクチュアリング分野において用いられる解析手法のしくみ・
活用方法の理解と共に、マニュファクチュアリング分野の特性に合わせた
データを用いた具体的演習により、実践的解析力、問題解決力の習得を目指します。

修了認定者には、統計検定２級取得を無料サポートします。検定２級対応講座を無料にて受講可能です。

料金　**40万円（税込）**

修了時間　**42時間（3ヶ月）**

修了認定要件

下記3要件を満たした場合、修了認定証を交付

- **全科目受講（各科目90%以上出席）**
- **総合テスト70点以上**
- **課題解決プレゼンテーションに合格**

URL　**htts://datascience.co.jp/reskill/mands**

演習事例

- ☐ 製造する部品の長さは一定かどうかサンプルから検討する。
- ☐ 製造機械間における加工精度の違いについて比較する。
- ☐ 同じ材料における２種類の試験機の加工性能について比較する。
- ☐ 改善案の実施前後における適合品数の違いを比較する。
- ☐ 温度と生産量の関係についてグラフ及び数値で把握する。
- ☐ 接着強度と不純物含有量の関係について検討する。
- ☐ 接着強度と２種類の含有量との関係について検討する。
- ☐ 稼働時間及び機種と不良品数の関係について検討する。
- ☐ 製造条件に基づく精密部品の不良発生件数を予測する。
- ☐ 原材料・製造工程データから品質管理指標を予測、及び影響因子を探索する。
- ☐ 製造条件に基づく電子部品の良品／不良品の予測を行う。
- ☐ 試作評価試験における設計条件を絞り込む。
- ☐ 部品調達先の違いによる部品特性を分析する。
- ☐ 寸法などの結果系データから不良モードを分類する。
- ☐ 部品特性に基づきグルーピングを行う。
- ☐ 製造条件から異常発生ルールを探索する。
- ☐ 技術論文からキーワードを抽出する。
- ☐ 不良率の算出、良品／不良品のダミー変数化、不良種別の２クラス化を行う。
- ☐ 不良率を閾値設定によりカテゴリー値化し、２クラス分類として影響因子を探索する。
- ☐ 多クラス分類による全故障モードの判別と、２クラス分類による特定故障を検出する。
- ☐ クラスタリングによる不良モードの分類、決定木による不良モード別の影響因子を分析する。
- ☐ アンダーサンプリングにより少数の不良品データと多数の良品データのサンプル数を揃えて分析する。
- ☐ 技術的知見に基づいた説明変数の取捨選択と新たな説明変数を定義する。

カリキュラム

科目	内容	
1 製造業のための実践統計学	1. データの視覚化	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図
	2. 基本統計	平均、分散、標準偏差、Z値、中央値、中央絶対偏差
	3. 分布	正規分布、t分布
	4. 母集団と標本	検定のしくみ、2種類の過誤
	5. t検定	有意確率、区間推定、効果量、検出力
	6. カイ２乗検定	カイ２乗分布、効果量
	7. 相関分析	散布図、積率相関係数、交絡要因と偏相関係数
	8. 重回帰分析	標準化偏回帰係数、決定係数、交互作用のある場合
2 Rによるデータ解析	1. Rとは	R、Rstudioのインストール
	2. Rの基本的な使用方法	Rstudioの使用方法、ライブラリー、データの読込み方法
	3. 基本統計量、グラフ	平均、分散、標準偏差、Z値（偏差値）
	4. グラフと外れ値	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図、外れ値の検出方法
	5. t検定	有意確率、区間推定、効果量、検定力、対応の有無
	6. 2種類の過誤とサンプルサイズ	効果量・検定力・有意水準によるサンプルサイズの設定方法
	7. ノンパラメトリック検定	ウイルコクソン順位和検定、符号付順位和検定
	8. 分散分析	F値、多重比較（テューキー、ボンフェローニ）、対応の有無
	9. 重回帰分析	ダミー回帰
	10. ロジスティック回帰分析	予測値、オッズ比
	11. 主成分分析	主成分負荷量、主成分スコア
	12. 因子分析	主因子法、最尤法、直交回転、斜交回転、因子スコア
3 Pythonによるビッグデータ解析手法	1. Pythonの基礎	・Pythonの導入、Jupyter Notebookの使い方、各種ライブラリの紹介：Matplotlib/Pandas/Numpy/scikit-learn
	2. データ加工の基本	・データベースの基礎、複数データの結合、ダミー変数化、カテゴリー値化）
	3. 教師あり学習：数値予測	・重回帰分析、ニューラルネットワーク、データの標準化 ・オーバーフィッティング（過学習）と多重共線性、モデルの評価（決定係数）
	4. 教師あり学習：クラス分類	・ロジスティック回帰、決定木、ランダムフォレスト（アンサンブル学習） ・サポートベクターマシン、モデルの評価（Accurary, Precision, Recall, F値）
	5. 教師なし学習：クラスタリング	・非階層的クラスタリング（k-means法）、階層的クラスタリング ・モデルの評価（Elbow法、シルエット係数）
	6. 教師なし学習：アソシエーション分析	・Aprioriによるアソシエーション分析、モデルの評価（支持度、確信度、リフト値）
	7. 自然言語処理とテキストマイニング	・形態素解析、頻出語分析とジップの法則、単語のベクトル化
4 実践力の養成	1. 製造業におけるデータマイニングと進め方	
	2. データマイニングで用いる統計学	・製造現場における統計学：工程能力指数と公差
	3. 分析課題の理解・分析目的の設定	・「品質不良」の捉え方（良品／不良品 など）
	4. データの理解・可視化・観察	・製造工程の理解とデータの確認 ・グラフによる不良状況の可視化と偏在の確認
	5. データの準備・加工	・変数の加工（不良率） ・データ結合（製造データと品質データ）
	6. 分析モデルの構築とモデル評価	・線形回帰による不良予測と影響因子の絞込み ・ロジスティック回帰による良品／不良品の判別 ・決定木分析による良品／不良品の判別 ・Precision（適合率）とRecall（再現率）
5 修了認定	総合テスト・課題解決プレゼンテーション	

MEDICAL DATA SCIENTIST
メディカル データサイエンティスト養成講座

医療現場に必須のデータサイエンスを実践的・効率的に習得

本講座はメディカル分野におけるデータサイエンティスト養成講座です。
メディカル分野において用いられる解析手法のしくみ・活用方法の理解と共に、
メディカル分野の特性に合わせたデータを用いた具体的演習により、
実践的解析力、問題解決力の習得を目指します。

修了認定者には、統計検定２級取得を無料サポートします。検定２級対応講座を無料にて受講可能です。

料金 **40万円（税込）**

修了時間 **42時間（3ヶ月）**

修了認定要件 下記3要件を満たした場合、修了認定証を交付

- **全科目受講（各科目90%以上出席）**
- **総合テスト70点以上**
- **課題解決プレゼンテーションに合格**

URL **https://datascience.co.jp/reskill/medds**

演習事例

- ☐ 降圧剤服用前後の最高血圧の違いについて比較する。
- ☐ 新薬投与群と既存薬投与群の効果の違いについて検討する。
- ☐ 新薬の投与前後の効果について比較する。
- ☐ 薬効について患者アンケートから年代別に比較する。
- ☐ 中性脂肪とGOT数値、年齢の関係について検討する。
- ☐ 治療方法と有効の有無の違いについて検討する。
- ☐ 患者情報から入院日数を予測する。
- ☐ 地域特性に基づき感染者数を予測する。
- ☐ 検査測定値から糖尿病の進行度を予測する。
- ☐ 健康状態や、年齢等から病気の罹患の予測を行う。
- ☐ ２種類の検査数値と疾患の有無の関係について検討する。
- ☐ 検査結果に基づき患者をタイプ別にグルーピングする。
- ☐ バイタル値に基づき健康状態を分類する。
- ☐ 合併症の発症パターンについて分析する。
- ☐ 電子カルテのテキストデータから病名を予測する。
- ☐ 医療論文からトピックに関する特徴的なキーワードを抽出する。
- ☐ ダイエットと取得カロリーに対する認識調査結果を分析する。
- ☐ 血液検査の結果から肝疾患を予測する。
- ☐ 基礎疾患の有無や血液検査の結果から慢性腎臓病を予測する。
- ☐ 心疾患患者の臨床データから生命予後を予測する。
- ☐ オープンデータを用いてCOVID-19の症状をテキスト分析する。
- ☐ 医療事故に関する公開事例集を用いて、テキストマイニングにより頻発するインシデントやその要因を探索する。
- ☐ 医薬品副作用の公開データを用いて、有害事象の発生パターンを分析する。
- ☐ レセプト公開データを用いて、エリア別の医薬品使用傾向を分析する。
- ☐ 錠剤の製造データから薬効に影響を与えうる品質要因を分析する。

カリキュラム

科目	内容	
1 医療データ解析のための実践統計学	1. データの視覚化	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図
	2. 基本統計	平均、分散、標準偏差、Z値、中央値、中央絶対偏差
	3. 分布	正規分布、t分布
	4. 母集団と標本	検定のしくみ、2種類の過誤
	5. t検定	有意確率、区間推定、効果量、検出力
	6. カイ2乗検定	カイ2乗分布、効果量
	7. 相関分析	散布図、積率相関係数、交絡要因と偏相関係数
	8. 重回帰分析	標準化偏回帰係数、決定係数、交互作用のある場合
2 Rによるデータ解析	1. Rとは	R、Rstudioのインストール
	2. Rの基本的な使用方法	Rstudioの使用方法、ライブラリー、データの読込み方法
	3. 基本統計量、グラフ	平均、分散、標準偏差、Z値（偏差値）
	4. グラフと外れ値	箱ひげ図、ヒストグラム、散布図、外れ値の検出方法
	5. t検定	有意確率、区間推定、効果量、検定力、対応の有無
	6. 2種類の過誤とサンプルサイズ	効果量・検定力・有意水準によるサンプルサイズの設定方法
	7. ノンパラメトリック検定	ウイルコクソン順位和検定、符号付順位和検定
	8. 分散分析	F値、多重比較（テューキー、ボンフェローニ）、対応の有無
	9. 重回帰分析	ダミー回帰
	10. ロジスティック回帰分析	予測値、オッズ比
3 Pythonによるビッグデータ解析手法	1. Pythonの基礎	・Pythonの導入、Jupyter Notebookの使い方、各種ライブラリの紹介:Matplotlib/Pandas/Numpy/scikit-learn
	2. データ加工の基本	・データベースの基礎、複数データの結合、ダミー変数化、カテゴリー値化）
	3. 教師あり学習：数値予測	・重回帰分析、ニューラルネットワーク、データの標準化 ・オーバーフィッティング（過学習）と多重共線性、モデルの評価（決定係数）
	4. 教師あり学習：クラス分類	・ロジスティック回帰、決定木、ランダムフォレスト（アンサンブル学習） ・サポートベクターマシン、モデルの評価（Accurary, Precision, Recall, F値）
	5. 教師なし学習：クラスタリング	・非階層的クラスタリング（k-means法）、階層的クラスタリング ・モデルの評価（Elbow法、シルエット係数）
	6. 教師なし学習：アソシエーション分析	・Aprioriによるアソシエーション分析、モデルの評価（支持度、確信度、リフト値）
	7. 自然言語処理とテキストマイニング	・形態素解析、頻出語分析とジップの法則、単語のベクトル化
4 実践力の養成	1. 統計的推定と検定	・サンプルサイズの違いによる検定の有効性と結果の解釈 ・効果量、サンプルサイズ、検定力の関係とサンプルサイズの設定方法 ・フィッシャーの直接確率法とオッズ比、カイ2乗検定との違い ・リスク比とオッズ比の違い ・コホート研究とケースコントロール研究による解釈の違い
	2. 相関関係	・積率相関係数、順位相関係数のしくみと活用方法 ・交絡要因による疑似相関、偏相関の求め方と活用法
	3. 重回帰分析	・交互作用のある場合、複数のダミー変数を用いた分析
	4. ロジスティック回帰分析	・ROC曲線のしくみと活用方法
	5. 生存曲線	・カプランマイヤー曲線 ・コックス比例ハザードモデルのしくみ
	6. 傾向スコア分析	・逆確率による重みづけ ・傾向スコア・マッチング
5 修了認定	総合テスト・課題解決プレゼンテーション	

お申し込みから卒業までのステップ

お申し込み

1. 下記、詳細ページにアクセスし、
お申込みください。

- □ マーケティング
データサイエンティスト養成講座
http://datascience.co.jp/reskill/mards
- □ マニュファクチュアリング
データサイエンティスト養成講座
http://datascience.co.jp/reskill/mands
- □ メディカル
データサイエンティスト養成講座
http://datascience.co.jp/reskill/medds

2. お申込み確認メールを差し上げます。

3. 事務局より、受講環境、受講テキスト等に
ついてご案内致します。

受　講

■ 受講日時に、研修室または
オンラインにて受講します。
（ご都合に合わせ、オンラインにて
アーカイブ受講します）

■ 受講後に
理解度確認のための小テストを行います。
小テストの採点を行い、
受講者にフィードバックします。
理解度不足の場合は、再度アーカイブの受講、
講師への質問等を行い、理解度を高めます。

■ 総合テストについて
全科目受講後に、総合テストを行います。

■ 課題解決事例プレゼンテーションについて
受講者自ら課題を設定し解決した事例について
30 分程度のプレゼンテーションを
行って頂きます。

修了認定要件

要件 1
全科目受講
（各科目 90%以上出席）

要件 2
総合テスト 70 点以上

要件 3
**課題解決
プレゼンテーションに
合格**

合格の場合

修了認定証を発行します。

＊統計検定 2 級取得を無料サポートします。

不合格の場合

1. 受講科目不足の場合は、オンラインによる
アーカイブ受講をして頂きます。
2. 総合テスト不合格の場合は、不合格分野の
再受講をお勧めし、再試験を受けて頂きます。
3. 課題解決プレゼンテーションに不合格の場合は、
課題レポートを提出して頂きます。
4. 総合的に審査し、合格と認められた場合は
修了認定証を発行します。

講師陣

伊藤嘉朗
株式会社データサイエンス研究所 所長

略歴｜早稲田大学大学院修了。
（社）日本能率協会、産能大学、早稲田大学、中央学院大学等講師を歴任。
専門分野はマーケティング、統計学、多変量解析。
数多くの企業・団体において、データ分析に関わる研修及びコンサルティングを実施。

野口 怜
明治大学　講師（データサイエンス）

略歴｜東京大学大学院博士課程修了、博士（科学）。
専門分野はデータマイニング全般。
民間企業の製造現場において実践的なデータマイニング（機械学習）による品質管理等、数多くのコンサルティングを実施。
現在、明治大学にてデータサイエンス教育に従事。

若田忠之
早稲田大学 グローバル
エデュケーションセンター　講師

略歴｜早稲田大学大学院博士課程修了、博士（人間科学）。
早稲田大学データ科学総合研究教育センターセンター員。
Pythonによるデータ解析法、R等用いた統計解析方法について指導。
専門分野は認知科学、実験心理学、知覚心理学。

藏本知子
立教大学　講師

略歴｜学習院大学大学院修了。専門分野は社会心理学。
大学では社会科学情報処理科目等において、EXCEL、SPSS を用いたデータ解析手法に関する講義を担当。
統計学の実務への活用能力を養成するため、各解析手法について理論に偏らない実践的な活用方法を指導している。

その他、データサイエンスの各スペシャリストが担当致します。

お支払い方法

□ 請求書払い

□ クレジットカード

法人によるお申込みの場合は、締日払いも可能です。

法人研修のご案内

「オーダーメイド型養成講座」も可能です。

- 分野（戦略の策定、商品開発、管理・・・）に合致した解析手法の習得、、
- 階層（新湯社員、実務担当者、管理者…）に合致した解析手法の習得、
- 社内データを用いた演習
- 社内利用解析ソフトウェア（SAS、SPSS等）を用いた演習等

詳細はお問い合わせください。

研修室

ライブ配信、アーカイブ収録、リアルタイム質問機能等を備えています。遠隔地の方、多忙の方、どこでも、いつでも臨場感のある受講が可能です。